

英語で教える：入門編 －英語による授業に備える－

企画運営：名古屋大学高等教育研究センター《質保証を担う中核教職員能力開発拠点》



2018年9月19日(水)・20日(木) 9:15–17:00

スケジュールの詳細は裏面をご参照ください。

会場：名古屋大学東山キャンパス文系総合館 5階
アクティブラーニングスタジオ

講師：Rupert Herington

英国リーズ大学言語センター・上席講師



概要 本セミナーは、英語を教授言語として授業をしている教員、およびこれから担当する教員を対象に、英語で授業をする際、専門分野を問わず広く活用できる効果的な教授法を紹介します。

両日ともどなたでも参加いただけますが、1日目は主に教育経験の浅い教員を対象に、英語による授業で効果的な教授法を中心にした内容です。2日目は主に教育経験を重ねた教員を対象に、言語運用法や特定場面での教育を中心にした内容です。

※1日目の1～5セッション全て、または2日目の6～10セッション全てを受講された方には、リーズ大学より参加証が発行されます。

対象 英語による授業に関心を持つ大学教職員（CEFR B2以上が望ましい）

使用言語 英語

お申込み 参加希望のセッション、氏名、所属、専門分野、英語での授業経験年数、大学教育経験年数を下記ウェブサイトより申し込み願います。

http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/180919_herington/

定員 30名（定員に達し次第、締め切ります）

申込期限 9月5日（水）

※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

※ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。

お問合せ 名古屋大学高等教育研究センター info@cshe.nagoya-u.ac.jp



	9:15-10:15		10:30-11:30		13:00-14:00		14:15-15:15		15:30-17:00
9/19 (水)	セッション1	休憩	セッション2	昼食	セッション3	休憩	セッション4	休憩	セッション5
9/20 (木)	セッション6		セッション7		セッション8		セッション9		セッション10

9/19 (水) セッション 1：英語による授業

英語で授業を行う際の一般的な留意点や、学生の学習を促すための技法について紹介します。

セッション 2：学生の知識獲得を支援する

専門分野に関する理解を促すため、書くことや話すことを活用して授業を行う技法について紹介します。

セッション 3：講義法

英語での講義を明快なものにするために必要な、言葉の使い方、内容の構成方法、ポディーンゲージの使い方、視覚教材の使い方を紹介します。

セッション 4：学習評価とフィードバック

学習評価の基礎と英語で学生へのフィードバックを行う技法について紹介します。

セッション 5：授業に学生参加を取り入れる

学生との双方向のやりとりを授業の中に取り入れた授業の実施計画を実際に作成してみます。

9/20 (木) セッション 6：多文化コミュニケーションと英語による授業

英語による授業で留意すべき文化的側面について紹介します。特に、知識獲得に対する態度、ネイティブ話者の考え方、性別的役割、自民族中心の教材の問題などを扱います。

セッション 7：クラスルームマネジメントに必要な英語

教室内で学生に学習活動の指示を出す際の言葉の使い方や、学習活動の中で学生と質疑応答するための英語を扱います。

セッション 8：双方向型授業とICT活用

講義の中で学生参加を促すための英語運用技法と、その際に有効なICTの活用技法を扱います。

セッション 9：講義に必要な英語

講義の際に学生が学習内容の構造を理解しやすいよう、話の展開や接続を効果的に行う英語技法を扱います。

セッション 10：講師との自由討論

英語による授業に関するさまざまな疑問や課題について、講師と自由に質疑応答します。

Rupert Herington

リーズ大学言語センター上席講師として、英語による授業者のための教育に20年以上携わり、世界各国で数多くのセミナーを開催してきた。英国以外にスペインとフィンランドでの教育経験があり、日本、中国、ブラジル、チュニジアなどで英語教授法のセミナー講師を担当してきた経験を有する。